

放射線に関する Q & A

放射線は目に見えません。しかし正しく認識し、対処することで過剰な心配や、無用な被ばくを避けることができます。放射能対策室では定期的に、この Q & A を連載していきます。

監修＝相馬市健康対策
専門部会委員、東京大
学医科学研究所
坪倉正治
作成＝放射能対策室



Q 相馬市で収穫された米は安全でしょうか？

A 収穫された米は、福島県が主体となり JA などと協力してもらい、市場への流通前に「全量全袋検査」が行われています。この検査では、ベルトコンベア式の検査器により米袋ごとにスクリーニング検査を行います。県全体では、平成 24 年度からこれまで検査した 31,560,379 袋中、99.9%が検出下限値以下でした。相馬市内で収穫された米では、99.8%が検出下限値以下で一般食品の放射性セシウムの基準値（1 kg 当たり 100Bq）を超えた米は見つかっていません。放射性物質が検出された米袋も、より精度の高い測定器による確定検査を行い、基準値を超えていないことを確認しています。

また、市で実施している食品の放射性物質検査においても、基準値を超えた米は見つかっていません。併せて、相馬市で行っている内部被ばく検査でも、相馬市産の米を消費している住民で内部被ばくが増えている状況にはありません。

このように米の内部へのセシウムの取り込みが抑えられているのは、セシウムは泥と強く結びつく性質があり、表土からセシウムが地中に浸透しづらいことが関係しています。相馬市では市民の皆さまに安全な食品を食べていただくために、市役所や公民館などで食品の放射性物質検査を受け付けています。また、放射線に関する講演会を各地区の公民館や小中学校で行っています。さらに、今年度は保護者を対象とした放射線に関する講演会と併せて、相馬市産の米の給食への活用に関する説明会も実施しました。皆さまがお住まいの地区で講演会を行う際には、皆さまの出席をお待ちしています。

※一般食品の基準値

基準値は 1kg あたり 100Bq ですが、100Bq の放射性物質を含む食品を毎日約 2kg ずつ摂取したとして、初めて年間の被ばく量が 1mSv に到達すると計算されます。

●市の全量全袋検査の結果

年度	測定件数	25Bq/kg 未満 (検出下限値)	25～50 Bq/kg	51～75 Bq/kg	76～100 Bq/kg	100Bq/kg 超
H 24	147,192	146,563	609	20	0	0
H 25	151,102	150,717	381	4	0	0
H 26	159,197	159,178	19	0	0	0

※平成 26 年度は 11 月末現在の数値
(一般食品の基準値：1 kg 当たり 100Bq)

●市で測定した米の放射性物質検査結果

年度	測定件数	新 米			古 米		
		検出 下限値 以下	基準値 以下	基準値 超	検出 下限値 以下	基準値 以下	基準値 超
H 25	71	51	3	0	16	1	0
H 26	29	16	0	0	11	2	0



ベルトコンベア式測定器

出典：福島県ホームページ、ふくしまの恵み安全対策協議会ホームページ

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

●11月分

▽測定件数 148 件（内訳：野菜 38 件、果実 70 件、魚 2 件、水 1 件、新米 1 件、古米 2 件、その他 34 件）

▽基準値を超えた食品 0 件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品（12月11日現在）

▽クリ▽くさそてつ（こごみ）▽たけのこ▽ふきのとう

（野生）▽ぜんまい▽たらの芽（野生）▽原木しいたけ（露地）▽原木なめこ（露地）▽

野生きのこ▽こしあぶら▽うど（野生）▽牛（県の定める

出荷・検査方針に基づくものを除く）

※最新の情報は、福島県環境保全農業課のホームページ

でご確認ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/mon-keka.html>

（相馬市ホームページ）

◎これまでの食品の検査結果

<http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html>

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37 2 2 7 0）